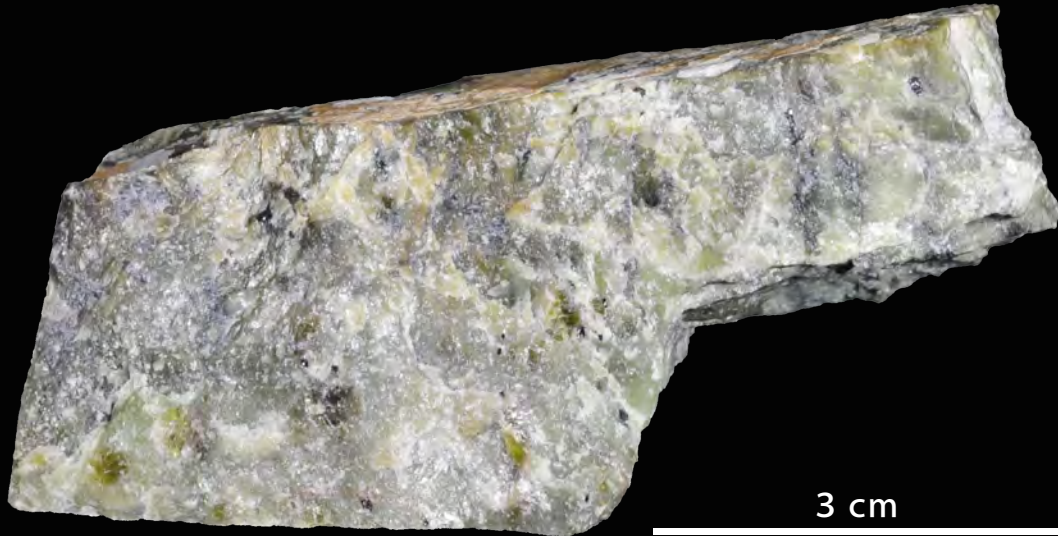


# ダナイト (ダンかんらん岩)



上部マントルに由来する岩石 ダナイト (GSJ R17296)  
 様似町幌満のダナイトは、地質調査総合センターが作製・供給している  
 「地球化学標準物質 JP-1 (ダナイト)」の標準試料となっている。

深成岩のうち、主としてかんらん石や輝石などの鉱物からなる岩石をかんらん岩といいます。中でもかんらん石が90%以上を占めるかんらん岩をダナイト (ダンかんらん岩) と呼びます。「ダン」は、この岩石が初めて確認、記載されたニュージーランドのダン山にちなんでいます。

地質標本館第4展示室の深成岩のコーナーにあるダナイトは、北海道の襟裳岬に近い様似町ほろまんの幌満というところで採取されました。オリーブ色をしたかんらん石が大部分を占めるため、岩石としても全体的にオリーブ色に見えます。採取地は日高山脈の南端部にあたり、地質学的には日高変成帯という、さまざまな種類の変成岩から構成される地質帯えりもに属しています。

新第三紀の中ごろ (約1300万年前) に始まった日高山脈地域の上昇で、日高主衝上断層という断層に沿って地下深くの岩石が持ち上げられてきました。この岩石の一つがダナイトで、上部マントルに由来するとみられています。地表で暮らす私たちは、地殻の下に位置する上部マントルの様子を直接観察することはできませんが、ダナイトのような岩石によって実物を手にすることはできるのです。

様似町幌満は、ユネスコ世界ジオパークにも認定されている「アポイ岳ジオパーク」のエリア内にあります。ジオパークでは地質だけではなく、地形、生物、歴史、文化など多様なことから楽しみながら学ぶことができます。なお、様似町幌満のダナイトをはじめとするかんらん岩は、北海道の「県の石」(日本地質学会2016年発表) に選定されています。 (地質標本館室 石井武政)